

熊本県立八代高等学校 3 学年「現代文」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1)「オブジェとイマージュ」(3 時間)
 (2)「市民社会化する家族」(4 時間)
 (3)「現代文読解問題」(4 時間) ※文系生徒のみ

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 (1)～(3) 語句の意味を的確に理解して語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 (1) 筆者の人間観、文化観を的確に理解する。 (2) 筆者の問題意識を理解し、これからの家族のあり方を考える。 (3) 本文の内容を的確に理解し、それを文章として表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 (1) 芸術や文化に触れる際の感性を磨く。 (2) 「家族」や「近代社会」の問題に関心を持ち、理解を深める。 (3) 文章の内容を日々の生活と結びつけて考える。	【知識・技能】 (1)～(3) ①読解に欠かせない語句の意味を的確に理解している。 【思考・判断・表現】 (1) ②筆者の人間観、文化観を的確に理解している。 (2) ②筆者の問題意識を理解し、これからの家族のあり方を考えている。 (3) ③本文の内容を的確に理解し、それを文章として表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) ③芸術や文化について論じた評論を読み、考察を深めている。 (2) ③「家族」や「近代社会」の問題についての評論を読み、理解を深めている。 (3) ③文章の内容と日々の生活とを結びつけて考えている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 ～ 3 回	(1)「オブジェとイマージュ」	2	・学習プリントを解く。	・登校日に学習プリントを提出。 ・学校再開後の考査の範囲として出題。	(1) ① (1) ②
		1	・学習プリントを解く。		(1) ③
第 4 ～ 7 回	(2)「市民社会化する家族」	3	・学習プリントを解く。	・登校日に学習プリントを提出。 ・学校再開後の考査の範囲として出題。	(2) ① (2) ②
		1	・学習プリントを解く。		(2) ③
第 1 ～ 4 回 (文系生徒のみ)	(3) 現代文読解問題 (駿台文庫)	4	問題集を解く。	・登校日に問題集を提出。	(3) ① (3) ② (3) ③

熊本県立八代高等学校 3 学年「古典」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1)『蜻蛉日記』「嘆きつつ一人寝る夜」（5 時間）
(2) 史伝「子路」（5 時間）

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 (1) 語句の意味や文法事項に留意して現代語訳する。 (2) 語句の意味や文法事項に留意して現代語訳する。 【思考力、判断力、表現力等】 (1) 筆者の立場や心情を的確に理解する。 (2) 筆者の問題意識を理解し、これからの家族のあり方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 (1) 平安貴族社会の文化について理解する。 (2) 史伝の魅力を味わう。	【知識・技能】 (1) ①語句の意味や文法事項に留意して現代語訳している。 (2) ①語句の意味や文法事項に留意して現代語訳している。 【思考・判断・表現】 (1) ②筆者の立場や心情を的確に理解している。 (2) ②登場人物の人物像や性格を的確に読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (1) ③平安貴族社会の文化について理解している。 (2) ③史伝の概要を理解して魅力を味わっている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 ～ 5 回	(1)『蜻蛉日記』「嘆きつつ一人寝る夜」	5	・学習プリントを解く。	・登校日に学習プリントを提出。 ・学校再開後の考査の範囲として出題。	(1) ① (1) ② (1) ③
第 6 ～ 10 回	(2) 史伝「子路」	5	・学習プリントを解く。	・登校日に学習プリントを提出。 ・学校再開後の考査の範囲として出題。	(2) ① (2) ② (2) ③

八代高等学校 3 学年「世界史B」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) イスラーム世界の形成と発展 (2) ヨーロッパ世界の形成と発展
 (3) 内陸アジア世界・東アジア世界の展開

2. 単元の見目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・イスラーム世界の歩み、特質を理解する ・ヨーロッパ中世の歩み、特質を理解する ・唐崩壊後の東アジアの変容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・イスラーム世界形成の特質を表現する ・ヨーロッパ中世形成の特質を表現する ・唐崩壊後の東アジアの変容を表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組をふり返る	【知識及び技能】 ①イスラーム世界の歩み、特質を理解できる ②ヨーロッパ中世の歩み、特質を理解できる ③唐崩壊後の東アジアの変容を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ④イスラーム世界形成の特質を表現できる ⑤ヨーロッパ中世形成の特質を表現できる ⑥唐崩壊後の東アジアの変容を表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 ⑦計画を立て、実施し、取組をふり返ることができる

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	イスラーム世界の形成	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.1の空欄補充	ワークシートNo.1の作業状態（表・裏両面）	①③⑦
第2回	イスラーム世界の発展、インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.2の空欄補充	ワークシートNo.2の作業状態（表・裏両面）	①③⑦
		1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.3の空欄補充	ワークシートNo.3の作業状態（表・裏両面）	①③⑦
第3回	イスラーム文明	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.4の空欄補充	ワークシートNo.4の作業状態（表・裏両面）	①③⑦
第4回	西ヨーロッパ世界の形成	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.5の空欄補充	ワークシートNo.5の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
		1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.6の空欄補充	ワークシートNo.6の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
第5回	東ヨーロッパ世界の形成	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.7の空欄補充	ワークシートNo.7の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
第6回	西ヨーロッパ中世世界の変容	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.8の空欄補充	ワークシートNo.8の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
		1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.9の空欄補充	ワークシートNo.9の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
		1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.10の空欄補充	ワークシートNo.10の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
第7回	西ヨーロッパの中世文化	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.11の空欄補充	ワークシートNo.11の作業状態（表・裏両面）	②④⑦
第8回	東アジア諸地域の自立化	1	・教科書を見ながら、ワークシートNo.12の空欄補充	ワークシートNo.12の作業状態（表・裏両面）	③⑥⑦

*教科書 p154～p157「トルコ化とイスラーム化の進展」は、今回は取り扱いません。各自教科書を読んで理解をしておいてください。

*休校後の授業は、教科書 p160「宋の統治」から進めていきます。

熊本県立八代高等学校 3 学年「日本史 B」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 飛鳥の朝廷 (2) 律令国家への道 (3) 平城京の時代

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 飛鳥の朝廷の政治と国際情勢を理解する。 - 大化の改新以後の律令制度の形成過程と仕組みを理解する。 - 奈良時代の政治抗争と遣唐使の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 東アジア情勢が日本に与えた影響を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画を立て、実施し、取組を振り返る。	【知識・技能】 ① 飛鳥の朝廷の時代的背景を理解できる。 ② 律令制度の形成過程と仕組みを理解できる。 ③ 奈良時代の政治抗争と遣唐使の役割を理解できる。 【思考・判断・表現】 ④ 東アジア情勢が日本に与えた影響を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	飛鳥の朝廷	1	- NHK 高校講座（動画視聴）「遣隋使の派遣と国政改革」 - 教科書 P. 34～P. 37 を読む。 - 授業プリント No. 8 を埋める。	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	① ④
		1	- 授業プリント No. 9 を図説の P. 51～P. 55 を見て埋める。 - 新日本史研究ノート P. 14 を解く。	自己評価（後日解答） 自己評価（後日解答） 新日本史研究ノートの提出（5 / 28）	① ⑤
第 2 回	律令国家への道	1	- NHK 高校講座（動画視聴）「大化の改新」 - 教科書 P. 38～P. 41 を読む。 - 授業プリント No. 10 を埋める。	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	② ④
		1	授業プリント No. 11～No. 13 を教科書・図説を参照し埋める。	自己評価（後日解答） 自己評価（後日解答）	②
第 2 回	律令国家への道	1	新日本史研究ノート P. 15 を解く。	新日本史研究ノートの提出（5 / 28）	② ⑤
		1	- NHK 高校講座（動画視聴）「律令国家のしくみ」 - 教科書 P. 41～P. 44 を読む。 - 授業プリント No. 14 を埋める。	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	②
		1	授業プリント No. 15～No. 16 を教科書・図説を参照し埋める。	自己評価（後日解答） 自己評価（後日解答）	②
		1	新日本史研究ノート P. 16～P. 17 を解く。	新日本史研究ノートの提出（5 / 28）	②⑤
第 3 回	平城京の時代	1	- NHK 高校講座（動画視聴）「平城京と地方の支配」 - 教科書 P. 44～P. 49 を読む。 - 授業プリント No. 17～No. 18 を埋める。	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	③ ④
		1	- NHK 高校講座（動画視聴）「政治と仏教の結びつき」 - 教科書 P. 49～P. 54 を読む。 - 授業プリント No. 19～No. 20 を教科書・図説を参照し埋める。	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	③ ④
		1	授業プリント No. 21 を教科書・図説を参照し埋める。	自己評価（後日解答）	③④
		1	新日本史研究ノート P. 18～P. 19 を解く。	新日本史研究ノートの提出（5 / 28）	③

熊本県立八代高等学校 3 学年「地理 B」 シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 第3次産業 (P153～157) (2) 交通・通信 (P158～161) (3) 貿易 (P162～167)
 (4) 人口 (P168～179) (5) 衣食住 (P201～207) (6) 民族・宗教 (P208～212)
 (7) 国家・民族・領土問題 (P213～226) ※P は教科書のページ

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 (1) グローバル化の進展による第3次産業の流れについて理解する。 (2) 交通通信の果たしてきた役割と世界に与える影響、課題について理解する。 (3) 自由貿易の歴史的背景と世界の結びつき、貿易構造の変化について理解する。 (4) 世界の人口、人口問題について理解する。 (5) 衣食住の特徴と多様性、地域的差異について理解する。 (6) 民族と国家の関係、先住民や少数民族について理解する。 (7) 国家の意義や役割について理解する。民族・領土問題の原因や現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地理的思考力を活用しながら、諸資料を適切に読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、地理に関する興味関心を高める。	【知識・技能】 ①各単元の地理的内容を理解し、その知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ②計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	(1) 第3次産業	1	◎別紙「地理選択者用 休校中の課題についての連絡プリント②」の指示をよく読み、学習を行う。 ・教科書、資料集を読みながら、「学習するうえでの重要ポイント」に線を引く。 ・よく分からない語句に関しては自分で調べる。 ※授業で使用する A4 サイズ (297×210mm) ノートにまとめを行っても良い。 ※NHK 高校講座 地理の動画も適宜、学習の参考にする。	・学校再開後の定期考査や実力考査の範囲として出題。 ・最初の授業で教科書の点検を行う。	①②
第2回	(2) 交通・通信	1			
第3回	(3) 貿易	1			
第4回	(4) 人口	2			
第5回	(5) 衣食住	1			
第6回	(6) 民族・宗教	1			
第7回	(7) 国家・民族・領土問題	2			
第8回	自学全範囲の復習	1			
第9回	地図帳で国名と国の位置を暗記	2			

※第4・7・9回以外は1単元1コマの学習時間を目安とする。ただし、時間がかかる単元の場合、各自の学習スピードに合わせて取り組んで良い。適宜復習を行い、知識の定着を図る。

- ・地図帳で国名と国の位置を暗記する国…東アジア、東南アジア、南アジア、ヨーロッパ、北米、南米
 地図帳 P1～2 を見ながら、大陸や地域ごとのまとまりで頭に入れていくと整理しやすい。

熊本県立八代高等学校 3 学年「倫理」シラバス（5 月分）

1. 単元 青年期、源流思想 （1）青年期の課題と自己形成 （2）人間としての自覚

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 青年期の特徴や課題、先哲の思想を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 青年期の特徴や課題、先哲の思想を多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 課題プリントの空欄を埋め、一問一答問題をさせることで理解を深める。	【知識・技能】 ① 青年期の特徴や課題、先哲の思想を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ② 青年期の特徴や課題、先哲の思想を多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③ 丁寧にかつ空欄がなく課題プリントを記述している。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	人間の定義、青年期 part 1	1	・ 人間の定義や青年期の位置づけについて理解を深める。	人間の定義や青年期の位置づけを説明できる。	① ② ③
第2回	青年期 part 2	1	・ 青年期の発達課題について理解を深める。エリクソン、ハヴィガーストなど。	青年期の発達課題を唱えた人物たちの違いを説明できる。	① ② ③
第3回	青年期 part 3	1	・ 青年期が持つ欲求や葛藤、防衛機制について理解を深める。フロイトなど。	欲求や葛藤、欲求不満から回避する行動には何があるかを説明できる。	① ② ③
第4回	青年期 part 4	1	・ 人が持つ性格についての様々な分類について理解を深める。ユング、クレッチマーなど。	人が持つ性格についての様々な分類について説明できる。	① ② ③
第5回	確認テスト	1	・ 確認テストを行い、理解度を確認する。		① ②
第6回	哲学の誕生	1	・ 万物の根源、哲学がどの様にして誕生したか理解を深める。タレス、プロタゴラスなど。	万物の根源、哲学がどの様にして誕生したか説明できる。	① ② ③

第7回	ソクラテス	1	・ソクラテスの思想について理解を深める。	ソクラテスの思想について説明できる。	① ② ③
第8回	プラトン	1	・プラトンの思想（イデア、理想主義など）について理解を深める。	プラトンの思想について説明できる。	① ② ③
第9回	アリストテレス	1	・アリストテレスの思想（現実主義など）について理解を深める。	アリストテレスの思想について説明できる。	① ② ③
第10回	ヘレニズム時代の思想、新プラトン主義	1	・ヘレニズム時代の思想家であるエピクロス、ゼノン、また、プロティウスについて理解を深める。	エピクロスとゼノンの思想の違い、プロティウスについて説明できる。	① ② ③
第11回	確認テスト	1	・確認テストを行い、理解度を確認する。		① ②
第12回	ユダヤ教	1	・ユダヤ教の成立（モーセ）や律法（十戒）について理解を深める。	ユダヤ教の成立や律法について説明できる。	① ② ③
第13回	イエス、キリスト教	1	・イエスの思想、キリスト教の成立（ペテロ、パウロ）と展開（アウグスティヌス、トマス＝アキナス）について理解を深める。	イエスの思想、キリスト教の成立と展開について説明できる。	① ② ③

☆勉強方法

- 1 当日勉強する単元の教科書の範囲をしっかりと読む。
- 2 各単元のプリントを教科書を見ながら解く。
- 3 解答を見ながら答え合わせ、やり直しをする。
※1～3を35分で行う。
- 4 一問一答の問題を解き、解答とやり直しをする。
※4を15分で行う。

☆確認テスト

- ・確認テストは時間内に解き、解答・やり直しまで終わらせる。

☆課題提出

- ・課題プリントは、学校が再開した最初の授業の時に提出。
※課題プリントは、名前を書き、バラバラにならないように順番にまとめておいてください（ファイルにまとめて入れる、ホッチキスでとめる、ノートに貼るなど形式はお任せします）。
- ・確認テストは、解答・やり直しをしてテストを行った日以降の次の登校日に提出。

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅱ・B（3 組文系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 基本～標準問題の徹底演習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 公式の知識や基本的な問題に対しての解法を理解する。 ・ 正確な計算処理をする。 【思考力，判断力，表現力等】 ・ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考える。 【学びに向かう力，人間性等】 ・ 様々な問題に積極的に取り組む。	【知識・技能】 ①公式の知識や基本的な問題に対しての理解ができる。 ②正確な計算処理を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ③標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考え出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 ①～④	アップリフト	1	前回までの復習	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①② ③④
		1	確認：2, 4, 6		
		1	確認：8, 10, 12		
		1	確認：14, 16, 18		
		1	・ 確認テスト		
第2回 ⑤～⑨	アップリフト	1	確認：20, 22, 24	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	確認：26, 28, 30		
		1	確認：32, 34, 36		
		1	確認：38, 40, 42		
		1	・ 確認テスト		
第3回 ⑩～⑭	アップリフト	1	確認：44, 46, 48	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	確認：50, 52, 54		
		1	確認：56, 58, 60		
		1	確認：62, 64, 66		
		1	・ 確認テスト		
第4回 ⑮⑯	アップリフト	1	確認：68, 70, 72	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	確認：74, 76, 78		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅱ・B（4 5 6 組文系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 基本～標準問題の徹底演習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 公式の知識や基本的な問題に対しての解法を理解する。 ・ 正確な計算処理をする。 【思考力，判断力，表現力等】 ・ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考える。 【学びに向かう力，人間性等】 ・ 様々な問題に積極的に取り組む。	【知識・技能】 ① 公式の知識や基本的な問題に対しての理解ができる。 ② 正確な計算処理を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ③ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考え出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 ①～④	教科書完成ⅠAⅡB	1	前回までの復習	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①② ③④
		1	① 2, 4 ② 2, 4		
		1	③ 2, 4 ④ 2		
		1	④ 4 ⑤ 2, 4		
		1	・ 確認テスト		
第2回 ⑤～⑨	教科書完成ⅠAⅡB	1	⑥ 2, 4	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	⑦ 2, 4		
		1	⑧ 2, 4		
		1	⑩ 2, 4		
		1	・ 確認テスト		
第3回 ⑩～⑭	教科書完成ⅠAⅡB	1	⑪ 2, 4	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	⑫ 2, 4		
		1	⑬ 2, 4		
		1	⑭ 2, 4		
		1	・ 確認テスト		
第4回 ⑮～⑯	教科書完成ⅠAⅡB	1	⑮ 2, 4	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	⑯ 2, 4		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅲ（1 2 4 組高進理系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 極限 (2) 微分法 (3) 微分法の実用

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・様々な極限を求める。 ・関数の増減、凹凸などを調べてグラフの概形をかく。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習をととして、極限や微分法の実用に對する興味を深める。	【知識・技能】 ①様々な極限を求めることができる。 ②関数の増減、凹凸などを調べてグラフの概形をかくことができる。 【思考・判断・表現】 ③関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④学習をととして、極限や微分法の実用に興味を深めることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 ①～⑥	第 4 章極限 第 2 節関数の極限 第 5 章微分法 第 1 節導関数	1	前回までの復習	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①④
		1	例題 12、応用例題 8, 9		
		1	例 16～例 21、例題 13		
		1	導関数≫ 例 1～3		
		1	例題 1, 2、例 4		
		1	例 5～7		
		1	・確認テスト		
第 2 回 ⑦～⑬	第 5 章微分法 第 1 節導関数 第 2 節いろいろな関数の導関数 第 6 章微分法の実用 第 1 節導関数の実用	1	例 8～10	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	②④
		1	例題 3, 4		
		1	例題 5、応用例題 1、例題 6		
		1	例 11、例題 7, 8、		
		1	微分の実用≫ 例題 1、例 1、応用例題 1		
		1	例題 2、例 2、応用例題 2		
		1	・確認テスト		
第 3 回 ⑭～⑳	第 6 章微分法の実用 第 1 節導関数の実用 第 2 節いろいろな実用	1	例題 3, 4	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	③④
		1	例題 5、応用例題 3		
		1	例題 6、例 3		
		1	例題 7, 8		
		1	例 4、例題 9、例 5		
		1	応用例題 4、応用例題 5		
		1	・確認テスト		
第 4 回 ㉑～㉓		1	例題 10, 11	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	③④
		1	例 6、例題 12		
		1	テーラー展開		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

※教科書の例題解説を Classi 校内グループ「高 3 数学Ⅲ高進理系」にアップするので参考にとすること

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅲ（1 2 4 組中進理系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 基本～標準問題の徹底演習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 公式の知識や基本的な問題に対しての解法を理解する。 ・ 正確な計算処理をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 様々な問題に積極的に取り組む。	【知識・技能】 ① 公式の知識や基本的な問題に対しての理解ができる。 ② 正確な計算処理を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ③ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考え出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 ①～⑥	アップリフト数Ⅲ （・・・ $\mathbb{Z}$ と称する） 教科書完成ⅠAⅡB （・・・ $\mathbb{B}$ と称する） 以下同様 Ⅲ 微分法、定積分 ⅠAⅡB 数と式 2次関数	1	前回までの復習	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①② ③④
		1	$\mathbb{Z}$ A1, A2, B ①2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A3, A4, B ②2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A5, A6, B ③2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A7, A8, B ④2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A9, A10, B ⑤2, 4 の4問		
		1	・ 確認テスト(1～5)		
第2回 ⑦～⑬	Ⅲ 積分 関数の極限 ⅠAⅡB 2次方程式 図形と計量	1	$\mathbb{Z}$ A11, A12, B ⑥2, 4 の4問	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	$\mathbb{Z}$ A13, A14, B ⑦2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A15, A16, B ⑧2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A17, A18, B ⑨2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A19, A20, B ⑩2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A21, A22, B ⑪2, 4 の4問		
		1	・ 確認テスト(7～12)		
第3回 ⑭～⑳	Ⅲ 2次曲線 総合問題 複素数平面 ⅠAⅡB 三角比 データの分析 場合の数と確率	1	$\mathbb{Z}$ A23, A24, B ⑫2, 4 の4問	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	$\mathbb{Z}$ A25, A26, B ⑬2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A27, A28, B ⑭2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A29, A30, B ⑮2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A31, A32, B ⑯2, 4 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ A33, A34, B ⑰2, 4 の4問		
		1	・ 確認テスト(14～19)		
第4回 ㉑～㉓	Ⅲ 無理関数 分数関数 ⅠAⅡB 整数の性質 円の性質	1	$\mathbb{Z}$ A35, A36, B ⑱2, 4 の4問	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	$\mathbb{Z}$ B1 B ⑲2, 4㉑2 の4問		
		1	$\mathbb{Z}$ B2 B ㉒4, ㉓2, 4 の4問		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅲ（3 組高進理系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 極限 (2) 微分法 (3) 微分法の実用

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 様々な極限を求める。 ・ 関数の増減、凹凸などを調べてグラフの概形をかく。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 学習をととして、極限や微分法の実用に對する興味を深める。	【知識・技能】 ① 様々な極限を求めることができる。 ② 関数の増減、凹凸などを調べてグラフの概形をかくことができる。 【思考・判断・表現】 ③ 関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 学習をととして、極限や微分法の実用に興味を深めることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 ①～⑥	第 5 章微分法 第 1 節導関数 第 5 章微分法 第 1 節導関数 第 2 節いろいろな関数の導関数	1	前回までの復習	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①④
		1	導関数 例 1 ～3		
		1	例題 1, 2、例 4		
		1	例 5 ～7		
		1	例 8 ～10		
		1	例題 3, 4		
		1	・ 確認テスト (1 ～5)		
第 2 回 ⑦～⑬	対数関数の導関数 第 6 章微分法の実用 第 1 節導関数の実用	1	例題 5、応用例題 1、例題 6	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	②④
		1	例 11、例題 7, 8、		
		1	問題 7, 8, 9, 10, 11, 12 P165 の 1, 2		
		1	P165 の 3, 4, 5, 6, 7 P166 の 11, 12		
		1	微分法の実用 例題 1、例 1、応用例題 1		
		1	例題 2、例 2、応用例題 2		
		1	・ 確認テスト (7 ～12)		
第 3 回 ⑭～⑳	第 6 章微分法の実用 第 1 節導関数の実用 第 2 節いろいろな実用	1	例題 3, 4	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	③④
		1	例題 5、応用例題 3		
		1	例題 6、例 3		
		1	例題 7, 8		
		1	例 4、例題 9、例 5		
		1	応用例題 4、応用例題 5		
		1	・ 確認テスト (15 ～19)		
第 4 回 ㉑～㉓		1	例題 10, 11	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	③④
		1	例 6、例題 12		
		1	テーラー展開		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

※教科書の例題解説を Classi 校内グループ「高 3 数学Ⅲ高進理系」にアップするので参考にとすること

熊本県立八代高等学校 3 学年「数学Ⅲ（3 組中進理系）」シラバス（5 月分）

1. 単元 基本～標準問題の徹底演習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 公式の知識や基本的な問題に対しての解法を理解する。 ・ 正確な計算処理をする。 【思考力，判断力，表現力等】 ・ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考える。 【学びに向かう力，人間性等】 ・ 様々な問題に積極的に取り組む。	【知識・技能】 ① 公式の知識や基本的な問題に対しての理解ができる。 ② 正確な計算処理を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ③ 標準的な問題に対して、公式等を活用し、解法を考え出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 様々な問題に積極的に取り組む意欲がある。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 ①～⑥	アップリフト	1		確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	①② ③④
		1	Ⅲ…A1, B1, ⅠAⅡB…A2, A4		
		1	Ⅲ…A3, B3, ⅠAⅡB…A6, A8		
		1	Ⅲ…A5, B5, ⅠAⅡB…A10, A12		
		1	Ⅲ…A7, B7, ⅠAⅡB…A14, A16		
		1	Ⅲ…A9, B9, ⅠAⅡB…A18, A20		
		1	・ 確認テスト		
第 2 回 ⑦～⑬	アップリフト	1	Ⅲ…A11, B11, ⅠAⅡB…A22, A24	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	Ⅲ…A13, B13, ⅠAⅡB…A26, A28		
		1	Ⅲ…A15, B15, ⅠAⅡB…A30, A32		
		1	Ⅲ…A17, B17, ⅠAⅡB…A34, A36		
		1	Ⅲ…A19, B19, ⅠAⅡB…A38, A40		
		1	Ⅲ…A21, B21, ⅠAⅡB…A42, A44		
		1	・ 確認テスト		
第 3 回 ⑭～⑳	アップリフト	1	Ⅲ…A23, B23, ⅠAⅡB…A46, A48	確認テストへの取り組み状況を評価する。また、学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	Ⅲ…A25, B25, ⅠAⅡB…A50, A52		
		1	Ⅲ…A27, B27, ⅠAⅡB…A54, A56		
		1	Ⅲ…A29, B29, ⅠAⅡB…A58, A60		
		1	Ⅲ…A31, B31, ⅠAⅡB…A62, A64		
		1	Ⅲ…A33, B33, ⅠAⅡB…A66, A68		
		1	・ 確認テスト		
第 4 回 ㉑～㉓	アップリフト	1	Ⅲ…A35, B35, ⅠAⅡB…A70, A72	学校再開後の定期考査の範囲として出題する。	
		1	Ⅲ…A37, B37, ⅠAⅡB…A74, A76		
		1	Ⅲ…A39, B39, ⅠAⅡB…A78		

※確認テストは丸付け、やり直しをして実施翌日の登校日に提出すること

熊本県立八代高等学校 3 学年「物理」シラバス (5 月分)

1. 単元 波の性質

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・波の要素（波長 λ 、振幅 A 、伝わる速さ v 、周期 T 、振動数 f ）を理解する。 ・位相について正しく判断する。 ・縦波の横波表示をする。 ・音波の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の伝わる様子をグラフで表現する。 ・波の伝わる速さ $v = f\lambda = \lambda/T$ の関係式を導き出せ、この式を活用する。 ・発音体のメカニズムを理解し、固有振動数や開口端補正を求める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波とは何か、関心を持つ。	【知識・技能】 ①グラフから、波の要素を判断できる。 ②同位相と逆位相を見分け振動状態を把握できる。 ③縦波の横波表示で、相互に変換し、分析できる。 ④音波の性質や共振・共鳴を理解できる。 【思考・判断・表現】 ⑤ $y-x$ (波形) グラフと $y-t$ (時間変化) グラフを相互に変換し、波の様子を把握できる。 ⑥正弦波や入射波と反射波の重ね合わせの作図ができ、腹や節の位置や振動状態を特定できる。 ⑦発音体（弦や管）の固有振動数を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑧教科書の内容を理解し、ノートにまとめることができる。 ⑨レポートの提出

4. 教材及び準備

(1) 教科書：改訂版 総合物理 2 ～波・電気と磁気・原子～

(2) 動画視聴の際は

インターネットで NHK for school を開く→高校講座→物理基礎を開く→2 学期のタブを開く→指定の回の動画を再生→メモを取りながら視聴→学習メモや理解度チェックも参考にする

(3) 問題集：アクセスノート物理基礎
セミナー 物理基礎+物理

(4) ノート：各自準備する

※ノートの内容で、学習の経過 や 考察（レポート）を評価する。
必ず、日付を明記し、記録を残しておくこと。

5. 学習計画

回	日時	学習項目	学習内容	評価
第 1 回	5/8 (金) 13:50 ～14:40	・波とは何か ・縦波と横波	■ 動画視聴（NHK 物理基礎 2 学期 第 2 4 回 「波は何を伝えるのだろうか」） ・教科書 P. 6～9、P. 16～17 の要点、用語の意味をノートにまとめる。 ・アクセスノートの P. 58 の問題を解く。	① ③ ⑧
第 2 回	5/11 (月) 14:50 ～15:40	・波の表し方 ・位相・位相 ・波のグラフの見方	■ 動画視聴（NHK 物理基礎 2 学期 第 2 5 回 「波の形や速さを表す」） ・教科書 P. 8～13 をノートに要点をまとめ、問 1、問 2、問 3、問 4、問 5、問 6 を解く。	① ② ⑤ ⑧
第 3 回	5/12 (火) 13:50 ～14:40	・波のグラフの見方	・教科書 P. 14～15 を読み、教科書巻末付録の波の立体模型を作る。 ・出来上がった波の立体模型を横から見て、考察したことをノートにまとめる。【レポート 1】 ・教科書 P. 13 の例題 1、2 と類題 1、2 を解く	⑤ ⑨
第 4 回	5/13 (水) 13:50 ～14:40	・縦波と横波	・教科書 P. 16～18 をノートに整理し、問 7、例題 3、類第 3 を解く。	③ ⑤ ⑧

第5回	5/15 (金) 13:50 ～14:40	・問題演習	・アクセスノート物理基礎P. 59～61を解く。 ※余裕があれば、セミナーP. 172～173の問題(333～339)を解く。	① ③ ⑤
第6回	5/18 (月) 14:50 ～15:40	・重ね合わせの原理 ・反射 ・定常波	■ 動画視聴 (NHK物理基礎 2学期 第26回 「進まない波をつくる」) ・教科書P. 24～29の要点、用語を整理し、問8, 問9, 問10, 例題6, 類題6を解く	⑥ ⑧
第7回	5/19 (火) 13:50 ～14:40	・自由端反射 ・固定端反射 ・定常波	・アクセスノート物理基礎P. 62～65の問題を解く。余裕がある人はP. 67まで解く。	⑥
第8回	5/20 (水) 13:50 ～14:40	・波の干渉	・配信された第2回WEBテストを解答する。 ・教科書P. 30～31を読んで、波の「干渉」がどのような現象なのか、どのような条件で起こるのか、法則をまとめる。 【レポート2】	⑧ ⑨
第9回	5/22 (金) 13:50 ～14:40	・波の反射、屈折、全反射、回折	・教科書P. 32～36を読んで、波の「反射」「屈折」「全反射」「回折」がどのような現象なのか、どのような条件で起こるのか、法則をまとめる。 【レポート3】	⑧ ⑨
第10回	5/25 (月) 14:50 ～15:40	・音の性質	■ 動画視聴 (NHK物理基礎 2学期 第27回 「音の違いを決めるもの」) ・教科書P. 39～45をノートにまとめる。 ・アクセスノート物理基礎P. 68～69を解く。	④ ⑦ ⑧
第11回	5/26 (火) 13:50 ～14:40	・発音体の振動(弦)	■ 動画視聴 (NHK物理基礎 2学期 第28回 「弦楽器の音を調べる」) ・教科書P. 46～47をノートにまとめる。 ・アクセスノート物理基礎P. 70～P. 71を解く。	④ ⑦ ⑧
第12回	5/27 (水) 13:50 ～14:40	・発音体の振動(弦)	・配信された第3回WEBテストを解答する。 ■ 動画視聴 (NHK物理基礎 2学期 第29回 「管楽器の音を調べる」) ・教科書P. 46～53の要点、公式をノートにまとめ、問17, 問18, 問19を解く。	④ ⑥ ⑦ ⑧
第13回	5/29 (金) 13:50 ～14:40	・共振・共鳴	・教科書P. 50～53の例題9、類題9を解く。 ・共振・共鳴について調べ、教科書P. 51の【実験26】を行い、レポートを書く。 【レポート4】 ※糸は百均のタコ糸がおススメ。おもりは、ある程度 質量があつて、糸に吊るせれば何でもよい。 ※レポートでは、実験方法、結果、分析・考察を記し、身のまわりの共振・共鳴についても調べること。	④ ⑨

※ 上記の学習計画は、1年次に学習した物理基礎の内容を多く含むので、これだけでは物足りない！という人もいるかもしれない。そうした人は、セミナーの発展問題に挑戦したり、授業で習っていない部分を(正弦波の式や、干渉、屈折の法則など)自分で教科書を読み進め、問題演習をするなどして自学を進めておくようにしよう。

また、理解を深めるには問題演習が大切なので、これまで学習した単元についても、復習として、どんどん問題演習を行っておくこと。

なお、質問があれば、クラッシーや登校日を活用して質問してください。密な状態を避けることができれば、学校に質問や添削を持ってくることも可能です。

ちなみに、物理基礎の第30回の講座は思考力を問う面白い内容となっています。NHK 高校講座には、他にも興味深いコンテンツがあるので、視聴してみてください。

6. 評価

- (1) 教科書の要点・整理、教科書や問題集の問題の解答(作図や立式など、考えた過程を残す)
- (2) 【レポート1～4】(考察が大事である必要に応じてポートフォリオに保管しておく)
- (3) WEBテスト

※(1)(2)はノート提出で確認する。ノート提出日は、6月1日とする。

※(3)は、毎週水曜日にクラッシーの校内グループで配信予定。原則、その日に提出する。

ただし、クラッシー上で提出できない人は、木曜日の登校日に、紙面で提出する。

熊本県立八代高等学校 3 学年「 化学 」シラバス（5 月分）

1. 単元 第3編 無機物質 第1章 非金属元素

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 非金属元素について、物質の単体やその化合物の性質を理解する。 ・ 代表的な気体発生法を化学反応式で表せる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ ハロゲンの酸化力の違いを理解する。 ・ 工業的製法の原理を理解し、量的関係を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。	【知識・技能】 ①非金属元素について、物質の単体やその化合物の性質を理解し、その知識を身に付けている。 ②代表的な気体発生について化学反応式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ③ハロゲンの酸化力の違いを理解できる。 ④工業的製法の原理を理解し、量的関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
① 5/8	非金属元素 水素 貴ガス元素	1	・ 教科書 P 206～209 を読む ・ 資料集 P 144～145 を確認する ・ プリント No, 2 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト① プリント提出（登校日 5/28）	①②
② 5/11	ハロゲン元素	1	・ 教科書 P 210～211 を読む ・ 資料集 P 146～147 を確認する ・ プリント No, 3～4 の穴埋めを行う	プリント提出（登校日 5/28）	①② ③
③ 5/12		1	・ 教科書 P 212～213 を読む ・ 資料集 P 148～151 を確認する ・ プリント No, 5～6 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト② プリント提出（登校日 5/28）	①
④ 5/12	酸素・硫黄	1	・ 教科書 P 214～216 を読む ・ 資料集 P 152～153 を確認する ・ プリント No, 7～8 の穴埋めを行う	プリント提出（登校日 5/28）	①②
⑤ 5/15		1	・ 教科書 P 217～220 を読む ・ 資料集 P 154～155 を確認する ・ プリント No, 9～10 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト③ プリント提出（登校日 5/28）	①② ④

⑥ 5/18	窒素・リン	1	・教科書 P 221～223 を読む ・資料集 P 156～157 を確認する ・プリント No, 11 の穴埋めを行う	プリント提出（登校日 5/28）	①② ④
⑦ 5/19		1	・教科書 P 224～225 を読む ・資料集 P 157～159 を確認する ・プリント No, 12 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト④ プリント提出（登校日 5/28）	①④
⑧ 5/19	炭素・ケイ素	1	・教科書 P 226～229 を読む ・資料集 P 160～163 を確認する ・プリント No, 13～14 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト⑤ プリント提出（登校日 5/28）	①②
⑨ 5/22	気体の発生①	1	・教科書 P 230～231 を読む ・資料集 P 164～167 を確認する ・プリント No, 15 の穴埋めを行う	プリント提出（登校日 5/28）	①②
⑩ 5/25	気体の発生②	1	・教科書 P 230～233 を読む ・資料集 P 164～167 を確認する ・プリント No, 15 の穴埋めを行う	Forms による確認テスト⑥ プリント提出（登校日 5/28）	①②
⑪ 5/26	非金属元素 まとめ①	1	・教科書 P 206～229 までの問 1～ 6 の問題を解く	解いた問題を提出（登校 日 5/28）	①② ③④
⑫ 5/26	非金属元素 まとめ②	1	・教科書 P 234～235 の問題を解く	解いた問題を提出（登校 日 5/28）	①② ③④
⑬ 5/29	非金属元素 まとめ③	1	・非金属元素の実験動画を探して レポートにまとめる。※化学基礎 の教科書 P 16～17 参照	レポート提出（登校日 6/1）	⑤

※Forms による確認テストは特別時間割「化学」の終わり 10 分前から解くようにしてください。

熊本県立八代高等学校 3 学年文系「生物」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 遺伝情報の発現 (2) 遺伝子の発現調節

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 遺伝情報の発現を理解する。 ・ 転写調節のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 遺伝情報の変化を体系的に理解する。 ・ 原核、真核細胞の転写調節を比較し、特徴を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 生物基礎と関連づけて遺伝子のはたらきを理解する。	【知識・技能】 ① 遺伝情報の発現の流れを理解できる。 ② 転写調節のしくみを理解できる。 【思考・判断・表現】 ③ 遺伝情報の変化を体系的に説明できる。 ④ 原核、真核細胞の転写調節を比較し、相違点を踏まえてそれぞれの特徴を整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 生物基礎と関連づけながら、遺伝子のはたらきを理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	遺伝情報の発現 1 (5 / 11) 2 (5 / 13) 3 (5 / 18) 4 (5 / 20)	1	・ DNAの複製を理解する(教科書 P84～87 を読む) ・ 問題集を解く(リードLight ノート P44・45) ・ 配信予定の動画を見る(任意)	・ 問題集の解答状況の確認(丸付け・やり直し) ※学習したページを撮影し、画像をClassi にて提出。	①⑤
		1	・ 遺伝情報の発現の流れを理解する(教科書 P90～100 を読む) ・ 問題集を解く(リードLight ノート P46・47) ・ 配信予定の動画を見る(任意)		①⑤
		1	・ 遺伝情報の変化を理解する。(教科書 P101～107 を読む) ・ 問題集を解く(リードLight ノート P48) ・ 配信予定の動画を見る(任意)		③
		1	・ 問題集を復習する(リードLight ノート P46～48) ・ 遺伝情報の発現に関する小テスト(Classi にて別途指示)		①③
第2回	遺伝子の発現調節 5 (5 / 25) 6 (5 / 27)	1	・ 原核生物の発現調節を理解する(教科書 P108～110 を読む) ・ 問題集を解く(リードLight ノート P49) ・ 配信予定の動画を見る(任意)	・ 問題集の解答状況の確認(丸付け・やり直し) ※学習したページを撮影し、画像をClassi にて提出。	②
		1	・ 真核生物の発現調節を理解する(教科書 P111～115 を読む) ・ 問題集を解く(リードLight ノート P50) ・ 配信予定の動画を見る(任意) ・ 遺伝情報の発現に関する小テスト(Classi にて別途指示)		④

熊本県立八代高等学校 3学年「生物（理系）」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 生殖と発生

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・遺伝子の連鎖と組換えを理解する。 ・動物の発生を理解する。 ・植物の発生を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発生についての説明をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組を振り返る。	【知識・技能】 ①遺伝子の連鎖と組換えを理解できる。 ②動物の発生を理解できる。 ③植物の発生を理解できる。 【思考・判断・表現】 ④発生についての説明ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。

4. 授業計画 (t:教科書、p1:プリントの一問一答、p問:プリントの問題)

授業 回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価 規準
第1回	遺伝子の連鎖と組換え	1	・t: 150～155を読む ・p1: 1～43を解く ・p問: 1～10を解く	課題の提出・取り組み状況	① ⑤
第2回	動物の発生	1	・t: 156～161を読む ・p1: 44～61を解く ・p問: 11～12を解く ・質問、感想を連絡する。	課題の提出・取り組み状況 質問、感想の有無	② ⑤
第3回	ウコの発生	1	・t: 162、163を読む ・p1: 62～79を解く	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第4回		1	・作業プリントを行う	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第5回	カエルの発生	1	・t: 165～169を読む ・p1: 80～90を解く	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第6回		1	・作業プリントを行う ・質問、感想を連絡する	課題の提出・取り組み状況 質問、感想の有無	② ⑤
第7回	発生の仕組み	1	・t: 170～175を読む ・p1: 91～97を解く ・p問: 20～22を解く	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第8回	分化の誘導	1	・t: 176～181を読む ・p1: 98～109を解く ・p問: 23～27を解く	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第9回	動物に共通の形づくりのしくみ	1	・t: 182～187、172を読む ・p1: 110～117を解く ・p問: 28～30を解く	課題の提出・取り組み状況	② ⑤
第10回	(質問時間)	1	学習内容で分からないことを質問する。また、これまでの学習の感想を述べる。	条件に沿った質問・感想の有無	④ ⑤
第11回	被子植物の配偶子形成と受精	1	・t: 188、189を読む ・p1: 118～136を解く ・p問: 31～33を解く	課題の提出・取り組み状況	③ ⑤
第12回	被子植物の胚の発生	1	・t: 190～195を読む ・p1: 137～140を解く ・p問: 34を解く	課題の提出・取り組み状況	③ ⑤
第13回	花の形態形成の遺伝子による制御	1	・t: 196～199を読む ・p1: 137～140を解く ・p問: 35を解く	課題の提出・取り組み状況	③ ⑤

熊本県立八代高等学校 3 学年「地学基礎」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 地球のエネルギー収支 (2) 大気の大循環

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 地球が受け取る太陽放射エネルギーについて理解する。 - 地球のエネルギー収支を理解する。 - 熱輸送について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 地球が受け取るエネルギー量を図から考えて計算する。 - 地球のエネルギー収支の関係性を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画を見ながら実施し、取り組みを振り返る。	【知識・技能】 ①地球が受け取る太陽放射エネルギーについて理解できる。 ②地球のエネルギー収支を理解できる。 ③熱輸送について理解できる。 【思考・判断・表現】 ④地球が受け取るエネルギー量を図から考えて計算できる。 ⑤地球のエネルギー収支の関係性を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑥計画通りに単元の目標を達成し、取り組みについて振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	太陽放射エネルギー	1	- NHK 高校講座「第28回～地球の熱収支～」の動画視聴。 - 教科書 P 1 2 0 ～ P 1 2 1 の太陽放射エネルギーを理解する。	研究ノート P 7 7. 問題番号 5 9 を解く。	①
第2回		1	教科書 P 1 2 1 の太陽定数について理解する。	研究ノート P 7 7. 問題番号 6 0、P 7 7. 問題番号 6 1 を解く。	④
第3回		1	これまでの内容を確認する。太陽放射エネルギー、太陽定数の計算の学び直し。	第1回、第2回でできなかったことを行い、理解できなかったことを質問としてルーズリーフにまとめる。	⑥
第4回	地球のエネルギー収支	1	教科書 P 1 2 1 ～ 1 2 2 の地球エネルギー収支を理解する。	研究ノート P 7 9 を解く。	⑤
第5回		1	教科書 P 1 2 3 の温室効果、放射冷却について理解する。	研究ノート P 8 0 を解く。	②
第6回		1	これまでの内容を確認する。地球のエネルギー収支や温室効果、放射冷却の覚え直し。	第4回、第5回でできなかったことを行い、理解できなかったことを質問としてルーズリーフにまとめる。	⑥
第7回	大気の大循環	1	- NHK 高校講座「第29回～大気の大循環～」の動画視聴。 - 教科書 P 1 2 4、P 1 2 5 B 空気に働く力と風について理解する。	ルーズリーフに教科書の内容をまとめる。	③

5 提出方法

- ①研究ノートはルーズリーフに解いて毎週木曜日の登校日に提出。（年組番号指名を忘れないこと）
- ②質問内容、まとめた内容もルーズリーフにかいて木曜日に提出。次週返却された際に授業用ノートに貼る。
これらの提出物が評価の対象となる。年組番号氏名を必ず記入しておくこと。

6 返却物について

- 基本次週に返却するものとする。
- ①については返却された際に提出ノートに張り付けること
 - ②については返却された際に授業用ノートに張り付けること

熊本県立八代高等学校 3 学年「体育」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 体づくり運動

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・自分の体力合わせた運動を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動を工夫して行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、継続して、運動を行う。 ・自分の体力に挑戦をする。	【知識・技能】 ①自分の体力に合わせた運動を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ②体力に合わせて運動を工夫して行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③計画を立て、毎日、運動に取り組むことができる。 ④体力アップに向け、回数を増やし、取組ことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価 規準
第 1 回 ～ 第 17 回	体づくり運動	・ NHK 「ラジオ体操第 2」 動画 視聴・実践 ・ 教科担当作成の体育学習内容 「体力づくりメニュー」を参考 に運動を行う。	学習記録シートの提出 ラジオ体操第 2 テスト	① ② ③ ④

熊本県立八代高等学校 3 学年「コミュニケーション英語Ⅲ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) Loop 長文問題集 Lesson1～Lesson5 (2) Listening Coach UNIT 01～UNIT 04

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・語彙・表現の知識を充実させる。 ・wpm を意識し、素早く読み進める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・段落構成なども意識しながら、大意を把握する。 ・精読して筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・長文読解を通じて今日的課題に対する興味関心を持ち、考察を行う。	【知識・技能】 ①語彙・表現を覚えている。 ②指定された時間で通読できる。 【思考・判断・表現】 ③速読し、大まかな内容を理解できる。 ④精読し、設問に解答できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤解説や補足ページを読み、理解できる。 ⑥本文に基づいて、自分の考えを表現できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	実施時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 ～ 第3回	Lesson1	5/8 3 限目	・英文編 P6, 7 Quick Check ・Workbook P6, 7 演習	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	①～④
		5/8 7 限目	・英文編 P6, 7 Quick Check ・Workbook P6, 7 解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
		5/11 3 限目	・英文編 P6, 7 P18 Lesson1 ・Workbook P8, 9 演習・解答 ・Listening Coach UNIT 01 演習・解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
第4回 ～ 第6回	Lesson2	5/13 3 限目	・英文編 P8, 9 Quick Check ・Workbook P10, 11 演習	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	①～④
		5/15 3 限目	・英文編 P8, 9 Quick Check ・Workbook P10, 11 解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
		5/15 7 限目	・英文編 P8, 9 P18 Lesson2 ・Workbook P12, 13 演習・解答 ・Listening Coach UNIT 02 演習・解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
第7回 ～ 第8回	Lesson3	5/18 3 限目	・英文編 P10, 11 Quick Check ・Workbook P14, 15 演習	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	①～④
		5/20 3 限目	・英文編 P10, 11 Quick Check ・Workbook P14, 15 解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
第9回	Lesson3	5/22 3 限目	・英文編 P10, 11 P18 Lesson3 ・Workbook P16, 17 演習・解答 ・Listening Coach UNIT 03 演習・解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	⑤, ⑥
第10回 ～ 第12回	Lesson4	5/22 7 限目	・英文編 P12, 13 Quick Check ・Workbook P18, 19 演習	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	①～④
		5/25 3 限目	・英文編 P12, 13 Quick Check ・Workbook P18, 19 解答	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
		5/27 3 限目	・英文編 P12, 13 P19 Lesson4 ・Workbook P20, 21 ・Listening Coach UNIT 04	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	
第13回 第14回	Lesson5	5/29 3 限目	・英文編 P14, 15 Quick Check ・Workbook P22, 23	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	①～④
		5/29 7 限目	・英文編 P14, 15 Quick Check ・Workbook P22, 23	Classi のポートフォリオより Workbook 写真提出	

熊本県立八代高等学校 3 学年「英語表現Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) システム英作文 Lesson7～Lesson10

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・語彙・表現の知識を充実させる。 ・基本文型を定着させる。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・基本文型を使った文を書ける。 ・文法的に破綻のない英文が書ける。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・自ら考えながら、作文する姿勢を身につける。	【知識・技能】 ①語彙・表現を覚える。 ②Basic レベルの基本的な英文を書ける。 【思考・判断・表現】 ③基本的な構文を使える。 ④時制や人称などを間違えずに書ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤解説や補足ページを読み、理解できる。 ⑥身につけた事柄を用いて自分の考えを表現できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	実施時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	システム英作文 Lesson 7	5/7 3 限目	・システム英作文 P32, 33 Advanced 奇数番号問題 演習	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第2回		5/12 3 限目	・システム英作文 P32, 33 Advanced 奇数番号問題 解答		
第3回 (文系)	Smart Reader L14・15	5/13 6 限目	・Smart Reader L14・15 奇数番号問題 演習・解答	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第4回	システム英作文 Lesson 8	5/14 3 限目	・システム英作文 P36, 37 Advanced 奇数番号問題 演習	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第5回		5/19 3 限目	・システム英作文 P36, 37 Advanced 奇数番号問題 解答		
第6回 (文系)	Smart Reader L16・17	5/20 6 限目	・Smart Reader L16・17 奇数番号問題 演習・解答	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第7回	システム英作文 Lesson 9	5/21 3 限目	・システム英作文 P40, 41 Advanced 奇数番号問題 演習	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第8回		5/26 3 限目	・システム英作文 P40, 41 Advanced 奇数番号問題 解答		
第9回 (文系)	Smart Reader L18・19	5/27 6 限目	・Smart Reader L18・19 奇数番号問題 演習・解答	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥
第10回	システム英作文 Lesson 10	5/28 3 限目	・システム英作文 P44, 45 Advanced 奇数番号問題 演習	Classi のポートフォリオよりノート写真提出。	①～⑥

Lesson10 の解答解説は休校期間が明けた後の授業で行う予定です。

熊本県立八代高等学校 3 学年「探究」シラバス（5 月分）

1. 単元 進路研究・小論文学習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ I C T活用能力を高める。 ・ 現代の諸課題への認識を深める。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・ 情報を正しく収集する力を身につける。 ・ 小論文学習を通して、論理的思考力や科学的思考力を養う。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・ 自己の在り方や生き方を考える。	【知識・技能】 ①インターネットを活用し、情報収集することができる。 ②現代の諸課題を把握できる。 【思考・判断・表現】 ③正しい情報を判断することができる。 ④論理的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤現代の諸課題に興味を持ち、自分の生き方を考えることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	・進路研究	1	・ 大学の学部・学科についてインターネット等を活用して調査し、調べたものをポートフォリオに保管する。 ・ クラッシーのポートフォリオの入力や整理を行う。	・ ポートフォリオに入力されたものを評価する。	① ③ ⑤
第2回	・小論文学習	1	・ 返却された小論文のリライトのための準備や調査を行う。	・ リライト後に提出された小論文で評価する。	① ② ③
		1	・ 小論文のリライトを行う。		④ ⑤